

登場人物

寺多トモコ（杉木さん義母 59歳） ゆきじ君（杉木さん息子 5歳）
杉木さん（33歳）

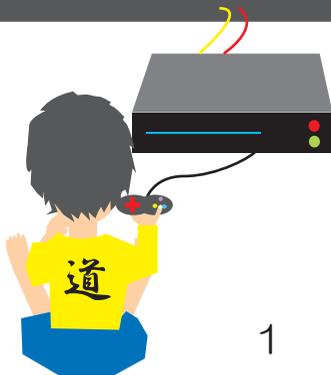
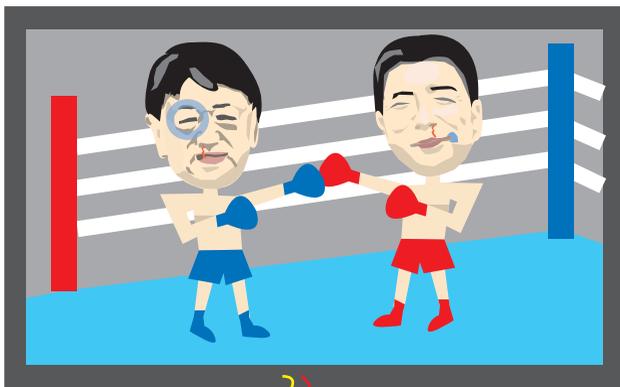
寺多トモコは、孫のゆきじが毎日テレビゲームばかりに熱中するのが心配でした。子供は、友達とお外で遊ぶことが一番大事だと思っていたからです。

あるとき何時間もゲームを続けるゆきじをみかねて注意すると、知らん顔をされたので、ゲームを取り上げてしまいました。

明るる日、トモコが洗濯物を干しに庭に出ると、ゆきじにあげたポケモンの貯金箱が割れて転がっていました。

トモコはショックを受けました。私のことが嫌いになったのかも・・・。

この後、トモコがさらにショックを受ける出来事がありました。



その日の午後、近所のスーパーで買い物をして帰ってくると、郵便受けに回覧板が入っていました。

買い物袋から冷蔵庫に、ゆきじの好きなポケモンのアイスクリームをしまいながら、回覧に目をとおしていると見慣れない1枚のお知らせ文が目にとまりました。

【マンション建設のお知らせ】
紋白町にお住まいの皆様へ

この度、紋白町3-1にて、マンションを建設する運びとなりました。

つきましては、周辺自治会の皆様を対象とした説明会を開催いたします。

開催日時：平成21年9月15日
午後7時から

会場：紋白公民館

お問い合わせ：株式会社秋山組

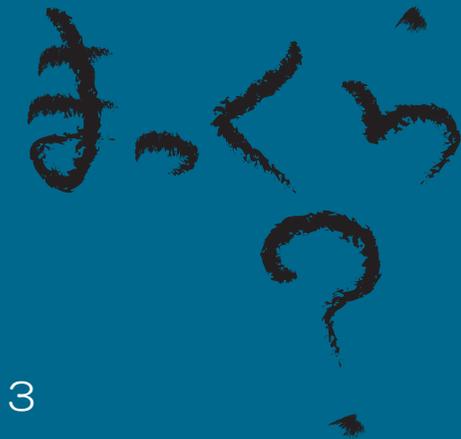


トモコ（以下、トモ）：大津市紋白町3-1・・・って、これ、うちの隣りやないの。マンションやなんて、そんな大きいもんが建ったら、うちが影で真っ暗になってしまうやんか。どうしよう！

トモコの部屋は縁側のある庭に面した1階の四畳半です。そんなに広い庭ではないけれど、夏にはビニールプールをふくらませて、ゆきじと遊び、縁側で一緒にスイカを食べるのがトモコの楽しみでした。

もっとも最近はおっぱらゲームでご無沙汰でしたが。マンションが計画されているのは、その庭をはさんだ四畳半の向かいで、ちょうど南側でした。

キョロキョロ



トモ：そういえば・・・

トモコは、娘夫婦がとなりに家を建てる時、娘婿の杉木が市役所で色々と法律を調べていたことを思い出しました。

トモコの杉木への印象は、「悪い人間ではないけども、どうにも間が悪く、おじいちゃんとの仲もいまひとつ。」というところでしたが、しかし、そんなことも言っていられません。トモコは杉木に相談してみることにしました。

トモ：背の高いマンションが建ったら、庭も四畳半もお日様が当たらんと、真っ暗になってしまうんとちがうやろか。

杉木（以下、杉）：おかあさん、ぼくにまかせてください！市役所に行って調べてきますよ。

トモ：あらホントに？（おっ！意外と行動的やね）私、法律とか難しいこと分からへんし、お願いしてもいい？

職員（以下、職）：寺多さんの家は市街化調整区域でしたね。そして、ご相談のマンションが建つのが南側の隣接地ですので、ちょうど市街化区域に入っています。用途地域は**第一種中高層住居専用地域**で、**第2種高度地区**が定められています。

杉：うっ、また新しい呪文が・・・第一種中高層住居専用地域って何ですか。

第一種中高層住居専用地域って!?



はい、任せてちょうだい。
その地域に建てられる建物の種類などを定めている用途地域のひとつで、中高層住宅のための地域のことです。住宅の他に、病院や大学、500㎡までのお店などが建てられます。

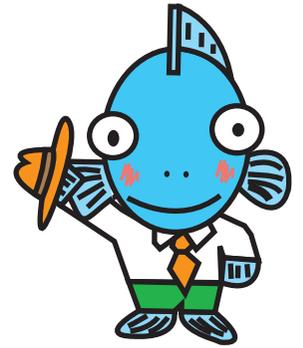
杉：それと第2種高度地区ってなんでしょう。

職：高度地区で建物が建てられる最高高さが決められていることは、前回ご説明させていただきましたね。

杉：そういわれれば、そんな話を聞いたような・・・。

職：（涙）都市計画の言葉はややこしいですもんね。それでは改めまして、第2種高度地区のご説明を

第2種高度地区って!?



第2種高度地区って？

敷地にピッタリ合う四角い豆腐をイメージしてちょうだい。

豆腐の高さは15メートル。

これが建物の最高高さです。

ここからがミソ！敷地の北側の豆腐の角をスパッと切り落とす。これが北側斜線制限です。

切り落とした後の豆腐はこんなかたちになります。

この豆腐こそが、第2種高度地区で制限をされた結果、建物が建てられる空間とイコールになります。建物が豆腐空間を飛び出すことはありません。

